

KADONO

第3号

第29代 千葉市長

神谷 俊一



KAMIYA SHUNICHI
OFFICIAL
SNS
FOLLOW ME!



facebook



X(旧Twitter)

能登半島地震で被災した方々にお見舞いを申し上げます。これまで延べ約340人の市職員を、珠洲市を中心に派遣し、り災証明書の発行等を担っています。消防局からは航空隊が緊急消防援助隊として出動しました。被災地の復興を祈念しつつ、応援派遣の経験を

千葉市の災害対応力の向上に繋げていきます。任期最終年度の予算が議決されました。「対話と現場主義」のもと、市長と語ろう会等での意見交換を就任来104回行い、頂いたご意見を予算に反映。「みんなが輝く都市と自然が織りなす・千葉市」の実

現のため、子ども医療費助成の拡充等の「幅広い子育て支援」、身近な移動手段の確保等の「持続的な公共交通ネットワークの形成」そして物価高騰の緊急課題に対応する予算であります。今後も共に市政を進めてまいります。

子育てと仕事

両立できる千葉市に

子ども医療費助成を
高校生まで拡大し、
市立学校体育館への
エアコン整備に着手

昨年の保険調剤負担の撤廃に続き、8月から子ども医療費助成の対象を高校3年生まで拡大します。また、食材料費の高騰分を公費で負担して値上げせず、栄養バランスと量を保った給食を提供します。

学びの環境については、令和6年度中に市立学校のトイレの洋式化を完了し、地域の避難所となる市立学校の体育館へのエアコン導入に新たに着手します。

また、子どもルームや保育園の新設整備を進め、市立保育所で主食の提供を開始するほか、一時預かり、病児病後児保育の受入枠拡大を進め、ニーズの多様化に対応します。保育士の研修・相談対応の拠点となる「幼児教育・保育人材支援センター」を開設し、保育士の定着を図ります。

さらに、子どもの発達について気軽に相談できる「子ども発達相談室」を11月に開設するほか、2か所目の児童相談所を中央区末広に設置することとし、養護教育センター、発達障害者支援センター等と一体的な整備を行って、保護者に安心感を持っていただける支援体制としていきます。



脱炭素社会の
実現に向けて

千葉市は国の「脱炭素先行地域」に県内で初めて選定されました。避難所に太陽光発電設備と蓄電池の設置を進め、防災対策と合わせて取り組んでまいりましたが、公共施設への更なる設置と、市清掃工場の余剰電力を公共施設で使用するためのシステムを構築します。市民と事業者向けには、ZEHや次世代自動車の購入助成を拡充するほか、プラスチック分別収集・再資源化モデル事業を行い、全市実施に向けた準備を行います。



New! 新病院の整備

市立海浜病院の老朽化に対応し、周産期・小児医療の機能を確保の上、救急医療・高齢者医療などの充実を図るため、新病院の整備を進めます。
2026(令和8)年秋頃開院予定



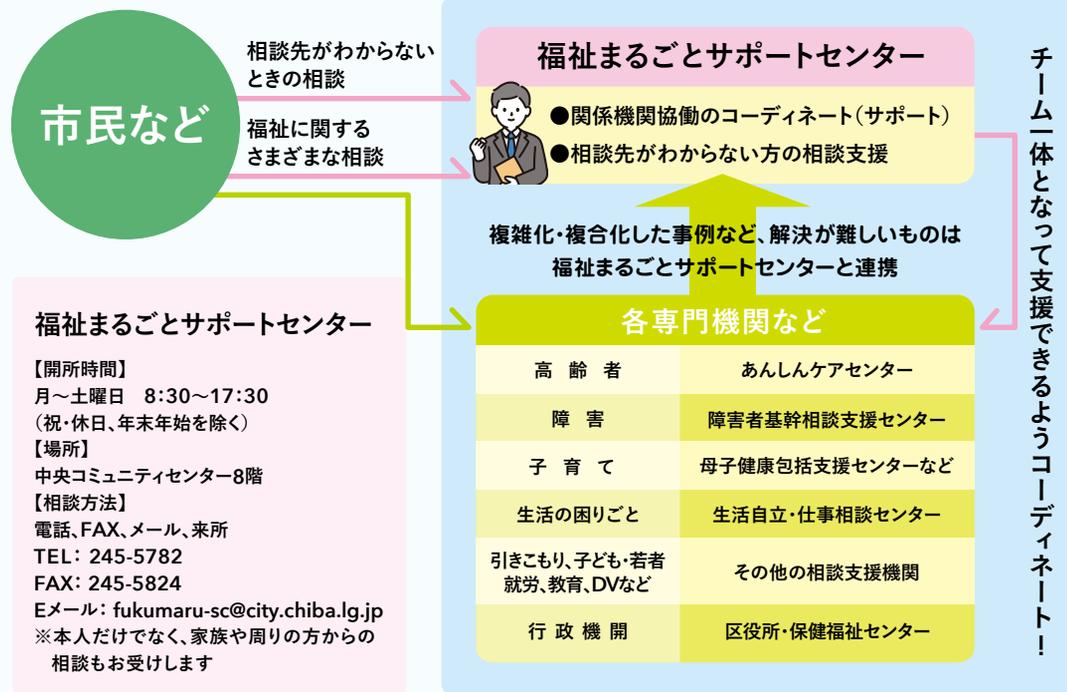
人生100年時代に向け、年齢や障害等に関わらず相談できる地域福祉に

海浜病院の老朽化に対応するため、美浜区若葉地区での新病院建設が始まりました。周産期・小児医療の機能を確保の上、救急医療や整形外科、呼吸器科での集学的がん治療など高齢者医療の充実を図ります。

また、相談内容、年齢、障害の有無を問わず福祉に関する様々なお困りごとをまるごと受け止め、専門機関と連携しながらその解決に向けてサポートする「福祉まるごとサポートセンター」を開設しました。縦割りの福祉行政に横軸

をとす取り組みを進めています。さらに介護予防とフレイル改善に力を入れ、全区の保健福祉センターに専門職を配置し、通いの場での保健指導や健康教育を実施するほか、フレイル状態で改善が必要な方にリハビリの専門職が身体機能の改善のための訪問型支援を実施します。あわせて健康増進と地域のつながりの回復のため、いきいきプラザ等でeスポーツ講座等を開催し、人生100年時代に向けた地域福祉を目指します。

福祉まるごとサポートセンターにまずはご相談ください



「緑と水辺を感じられる都市環境」と「地域の移動手段の確保」に向けて

令和5年の千葉市は、全国8位の5千88人の転入超過となり、子育て世帯を含め全年齢層での超過でした。強みである都市機能と緑と水辺の環境をさらに磨いてまいります。4月には千葉公園の野球場跡地を芝生で敷き詰めた空間に再生し、飲食や物販、子ども向け体験プログラムを提供して新たな交流を創り出します。また、都川、花見川、鹿島川等の河川を地域資源と捉え、テラスを設置する等「ちばかわまつり」を開催します。八千代市、佐倉市とも連携して流域を「千葉うみさとライン」として魅力を感じられる取り組みを進めます。

止が続いていますが、不採算路線への経営支援と、鎌取駅から千城台駅方面を結ぶ大宮台コミュニティバスの運行を始めます。道路網については、国道357号の渋滞緩和のため、検見川真砂スマートICと検見川立体の整備を進めます。

3月の京葉線ダイヤ改正では、通勤時間帯の通勤快速と快速が全廃される発表があり、都市基盤を揺るがす問題として、沿線20市町と経済団体と連携した緊急申入れの結果、直ちに可能な対応として快速2本が復元しました。引き続き、東京・海浜幕張・蘇我駅以南で相互の速達性を維持するダイヤへの復元に向け協議を行っています。

より、市内バス路線の減便や廃



魅力発信 ちばかわまつり

河川を地域資源と捉え、緑と水辺の環境を磨いています。

神谷俊一 プロフィール

- 1973年 8月31日 愛知県生まれ
- 1996年 東京大学経済学部卒業、旧自治省入省
- 2001年 在ヨルダン日本国大使館
イラク戦争に遭遇、邦人保護の危機管理を経験
- 2010年 佐賀市副市長
- 2012年 総務省自治行政局地域政策課理事官
- 2015年 千葉市副市長に就任
- 2018年 消防庁国民保護・防災部広域応援室長
- 2020年 総務省外国人住民基本台帳室長を最後に退官
- 2021年 過去最高得票で千葉市長に当選、現在に至る

発行：葛野会(かどのかい)

〒260-0013 千葉市中央区中央3-3-9 MF9ビル302号室
神谷しゅんいち 後援会事務所内
HP: <https://www.kamiya-shunichi.jp/>
Email: chibacity@kamiya-shunichi.jp

「葛野会」の謂れ

「千葉」という名の由来に、「千葉の葛野を見れば百千足(ももちだ)る家庭(やにわ)も見ゆ国の秀(ほ)も見ゆ」という歌があります。応神天皇が、宇治野の丘から葛野を眺めて詠んだ国土讃歌です。「千葉」は、「葛」と言う言葉に掛かる枕詞で、「千の葉」で葛の葉が豊かに生い茂る様を表し、後半の国の繁栄にも重なります。「葛野会」という名前は、この歌からいただいた千葉ゆかりの名前です。

